

さあ、新しい一年が始まりました。
今年も良い年でありますように…。気分も新たに安全運転で！

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



シャーベット路面の恐怖

この映像の訴求ポイントは…

- ◎タイヤが滑ってしまったら、その後の制御は至難です。
- ◎冬用タイヤ、チェーンは早めに装着。速度は抑えめに。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



おいおいっ！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎斜め前を走る車の後方45度の位置は死角です。
- ◎ブレーキを踏ませられる前に自分で踏む方が気分は良いはず。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



子供ってこんなもの……

この映像の訴求ポイントは…

- ◎ガードレールのない歩道は、いつでも飛び出し可能です。
- ◎生活道路では、自動車がお邪魔している感覚でいきましょう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



高齢者と自転車

この映像の訴求ポイントは…

- ◎最近の車は静かなので、近づいても気が付きません。
- ◎優しくプツと鳴らすのも手です。広い場所まで待つのも手です。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



ふざけんな！！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎AT車でも坂道でのペダル踏み替え時に下がることはあります。
- ◎車間距離をあげましょう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】近い将来、街中を走る車は全て電気自動車に

電気で動かしたモーターで走る電気自動車（EV）。国内メーカーでも10年ほど前からEVが市販され、最近では街中でもよく見かけるようになりました。マイカーがEVという人もいらっしゃると思います。

EVと聞くと、大容量の電池を搭載し、充電して走行するイメージがありますが、広い意味でのEV、エンジンとモーター、電池の3つを搭載したハイブリッド車などを含めると、すでに新車の大部分はEVです。

海外では、期限を定めて、全ての車をエンジン車からEVにシフトすることを決めている国もあります。先行しているのは欧州や中国で、とりわけ自動車産業が急速に伸びている中国は、次世代EVで世界を牽引する存在になると言われています。

EVが普及すると、排ガスの問題は解決されずし、騒音も軽減されます。また、ガソリンや軽油といった石油系の液体燃料に比べて走行距離あたりの価格も安いので、家計のお財布も助かります。充電のための電力供給は課題ですが、ピークアウトを外した余剰電力をEVと同じ大容量の定置型電池に充電しておくことで、効率のよい電力消費を行う仕組みも徐々に普及していくでしょう。

EVの最大の課題は、なんといっても電池。現在の技術では、まだ、ガソリンや軽油で走るエンジン車に比べてエネルギー密度が低いために航続距離の点で見劣りし、価格も高いですが、新しい電池技術の開発によって、その課題も近い将来克服されると考えられています。

ところで、このEVの電池は、最大で約400ボルトもの高電圧で、仮に接触すれば感電してしまい、死亡や重傷の恐れがあります。また、現在使われている電池は、可燃性のリチウムイオン電池なので、事故などで電池が損傷すると火災を起こす危険性があります。安全性に問題はないのでしょうか？

結論から言えば、安全性については従来のエンジン車と同じ程度で、ことさらに心配する必要はありません。EVは仮に事故で損傷しても、高電圧の部品などが露出しないように設計されています。また、電池も相当程度の事故に耐えられるように保護されており、異常検知時には充電の回路を自動で遮断する仕組みが備わっています。仮に電池本体が損傷してしまいショートを起こして発火してしまっても、揮発性が高いガソリンに比べると、その燃え方は穏やかです。さらに安全で燃えにくい電池の開発も進んでいます。

